

## 2026年度 1級研究レポート課題について

1級損害保険登録鑑定人認定試験の2026年度「研究レポート課題」についてご案内いたします。

メインテーマ：「建築物の安全性能向上技術」

サブテーマ例：・自然災害と建築物の安全性能

- ・安全性確保のための耐震性能向上技術
- ・補強、補修技術とコスト
- ・建築物の経年化が安全性能に与える影響
- ・安全性能確保のための維持管理

※ メインテーマに沿ったものなら、必ずしもサブテーマ例には縛られないものとする。

1. 書式 ワープロ書きにより、A4判、縦長・横書使い、本文のフォントは明朝体で12ポイントサイズ、一行字数40字、行数36行、上下左右余白20mm  
提出データはPDF形式とすること
2. ページ数 15～20ページ（レポートのページ数は、参考資料を含めて20ページ以内であること）
3. 提出期間 2026年11月1日（日）～11月30日（月）

### 【レポート採点上の評価基準】

下記の項目は、レポートの採点において評価基準となる。

- テーマに則ったうえで、鑑定人の視点に立って自らに問題を課し、その解決方法を文献だけではなく、事例・実体験に基づく調査・研究によって自分の意見として見出した内容であること。
- 鑑定実務の観点から、損害額と再取得価額の比較に基づく経済的な考察を含んだレポートであること。
- 単に参考資料の内容を羅列記述するのではなく、事例・実体験を踏まえて自分のものとしたうえで、自分の言葉で全体を論理的に構成して書かれていること。
- 表紙・目次・図表番号・引用文献の記載など、基本的なレポートの体裁をとっており、本文では、問題提起・資料収集・考察がわかりやすく、構造的に展開されていること。
- 他者が作成した資料・文章・図・表をレポートの文中に挿入して引用する場合には、引用文献名が明示されていること。文献の記述から直接引用する場合は、引用部分を「」等を付して明示し、出典と該当ページを注等にて必ず記すこと。本文「注」は脚注でも後注でもよい。後注の場合は各章の末尾にまとめて記入する。インターネットのウェブサイトを参照した場合は、そのサイト名とURLを記載すること。
- 参考資料を添付する場合、本文と関わりがあり、本文中にその旨の記載がされているものを添付すること。

- ※1 提出レポートは自作で未発表、かつ他に提出していないもので、1人1レポートに限ります。
- ※2 提出レポートは一定期間保管後、責任を持って廃棄します。
- ※3 提出レポート中における他著作物からの引用等に関する責任はレポート提出者が負うものとします。著作権等の争議が生じた場合、当協会はいっさいその責任を負いません。
- ※4 レポート提出者の個人情報、選考および運営に必要な範囲内で利用し、それ以外の目的には使用いたしません。また、提出者の同意なく、利用目的外で利用することはありません。

以上